

2018～2023 年度(総括) 分野別計画進捗等報告書	体系番号
	01010104

1.計画名称

茅野市障害者保健福祉計画

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	【R5評価】個別の課題については福祉21茅野のWGIにて検討を継続。広域的な課題については諏訪地域障がい福祉自立支援協議会等で検討している。 【総括評価】福祉21茅野で新たなWGが立ち上がったこと、市単独では対応困難な課題について諏訪地域障がい福祉自立支援協議会で協議され取り組んでいることは評価できる。
今後の重点化施策番号	2	説明	今後の課題として、18～20歳までの狭間の支援や高齢障害者への支援、発達障害のある児童の増加に伴う学校や障害児サービス事業所との連携、強度行動障害児者や医療的ケア児への支援の充実等があげられる。当市だけでなく諏訪地域共通の課題であり、市単独では解決が難しい事項は諏訪地域自立支援協議会に参加し、取り組んでいく必要がある。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	自己実現と社会参加への支援	おおむね順調	・R3年度から成年後見人等の受任調整会議を広域で開催している。総括として、専門職による成年後見人等を広域で調整し市町村間で偏りがないよう仕組み作りを行った。	成年後見制度の申立が増えている反面、専門職後見人等が不足している。法人後見を受託する法人を増やす、市民後見人の育成等の体制整備が課題となっている。	R5年度は受任調整会議の開催がなく、各市町村や4成年後見支援センターで候補者が探している。市民後見人の育成や法人後見等の課題、今後の受任調整会議等のあり方について、引き続き、諏訪地域6市町村と諏訪地域内の4成年後見支援センターで連携し協議を進めていく。
2	地域を基盤とした自立生活の支援	おおむね順調	・児童及び就労系を含む通所サービス、グループホームの利用者数が増加し、当事者の自立した生活の支援を行った。就労移行支援、相談支援事業所が各1ヶ所増えた。総括として、障害福祉サービス、障害児サービスの利用者が増加しているがSCにおいて適正に対応し決定した。	障害福祉サービス利用者が増加しているが、障害福祉サービス事業所や相談支援専門員は利用者の増加に対し人材が不足しており、諏訪地域全体の課題となっている。強度行動障害児者の支援体制についても広域的な課題となっている。	・障害福祉サービス事業所や相談支援専門員の不足、強度行動障害児者の支援体制については諏訪地域共通の課題であり、諏訪地域障がい福祉自立支援協議会で協議を継続している。協議会を通じ協議して取り組んでいく。
3					
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称 福祉避難所WG	福祉避難所の開設訓練を実施し、必要な物品や運営について検証を行いたい。	R5.9.3に開催される総合防災訓練に合わせ福祉避難所開設訓練を実施し、抽出された課題を参考に運営マニュアル等検討していく。
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称 外出支援WG	通所している障害者の「のらぎあ」への移行がスムーズにできるようにしてほしい。運営について負担が大きくなりたくないようにしてほしい。障害者利用のドアツードアの運行について検討をしていく。	スムーズな移行については事業所や本人・保護者へ説明会を行った。運営は障害者割引料金を設定する。ドアツードアの運行についてはアンケートの実施について検討する。
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		